|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年度（2020年度）用 | 小学校社会科用 |

|  |
| --- |
| 「新しい社会」**知識の構造図****【３年】** |

令和2年（2020年）2月14日版

東京書籍

□　知識の構造図　市の様子

わたしたちが住む福岡市には，さまざまな場所があり，それぞれ地形や土地利用，交通の広がり，公共施設の位置，古くから残る建物の分布など，市内の様子は場所によって違いがある。

⑨⑩

中心概念 　　まとめる

（概念的知識）

福岡市内には、古くから残る神社、寺院、家屋などの建造物や城跡があり、博多区や中央区に多く分布している。

⑧

・古くからのこるたて物

・いわれ

わたしたちは必要に応じて市内の特色を生かして、よりよい生活を送っている。

⑪⑫

福岡市の中心部には市役所などの公共施設があり、市民のくらし、教育、健康福祉、観光や産業を支えている。災害時の避難場所も指定している。

⑦

福岡市には、新幹線、鉄道、地下鉄、高速道路などの交通網が広がり、人々の移動や輸送に便利である。

⑥

福岡市は、大きな船がとまる港の近くに工場が集まり、市の中心部には商店や住宅が集まっている。開けた土地は田や畑に利用されている。

⑤

福岡市の地形は、海に面した北側が土地が低く、南に向かうほどだんだん土地が高くなっている。西側は開けた土地がある。

④

福岡市は福岡県の中の西に位置し、町、市、県に接している。市内は７つの区がある。

②

学校のまわりにもさまざまな場所があったが、市にも同じようにさまざまな場所がある。

①

・福岡市

・市の位置

社会的事象

（具体的知識）

・市役所

・ひなん場所

・公共しせつ

・交通

・高速道路

・新かん線

・地下鉄　・空港

・市の形　・八方位

・地図帳

・土地の使われ方

・田畑　・工場

・海岸線

・川

・土地の高さ

・島

・市のとく色

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　　　調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす

□　知識の構造図　農家の仕事

あまおう農家では，ビニールハウスなどの設備を使い，季節に合わせた育て方をするなど，おいしいあまおうをたくさんつくるためにさまざまな工夫をしている。また，つくられたあまおうは市の中央卸売市場から市内外の店に運ばれて販売され，地域の人々の生活と密接な関わりがある。　　　　⑪

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑦⑧

中心概念 まとめる

（概念的知識）

農家では、おいしいあまおうをつくるために、苗づくりや栽培設備にさまざまな工夫をしている。また、ビニールハウス内で電照や暖房をすることで、冬でもたくさんのあまおうを収穫できるよう工夫している。

⑦⑧

農家では、自然条件を生かしてあまおうをつくるほか、棚の上で栽培したり、畑とビニールハウスを使ったりするなどさまざまな工夫をしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑤⑥

農家では、季節の変化に合わせた工夫をしながら、１年間計画的にあまおうをつくっている。

④

あまおうの収穫は、朝早くから手作業で行われている。収穫されたあまおうは、市内だけでなく、近隣の市や他県や外国にも送られている。

⑨⑩

わたしたちの住む福岡市では、さまざまな野菜や果物がつくられている。

①

福岡市では、たくさんのいちごがつくられていて特産品になっている。特にあまおうという種類が有名である。

②③

社会的事象

（具体的知識）

・葉かぎ

・電しょうせつび

・だんぼうせつび

・ビニールハウス

・日当たり

・水はけ

・あまおう

・なえ

・しゅうかく

・農家

・特産品

・生産額

・ぼうグラフ

・作物

・パックづめ

・市場

・送り先

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　　　　　調べる

□　知識の構造図　工場の仕事

お菓子工場で働く人々は，おいしいお菓子をたくさんつくるために，衛生面に気をつけ，さまざまな工夫をして仕事をしている。また，お菓子は市内を中心に販売され，福岡市のお土産として知られているなど，地域の人々の生活と密接な関わりがある。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　⑪

中心概念 まとめる

（概念的知識）

わたしたちの住む福岡市には、さまざまなものをつくる工場があり、博多港の近くに多く分布している。また、特に、食べ物や飲み物をつくる工場が多い。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

・インターネット

・たくはいびん

工場でつくられているお菓子は、市内を中心とした販売店で売られている。工場で働く人は、近くのほかの市や町からも来ていて、まわりの地域とかかわりあって、福岡市のよさを伝えるお菓子ができている。

⑨⑩

お菓子の原料の小麦粉や卵などは、他県や外国からも仕入れている。

⑤⑥

工場では、機械と人の手を有効に使って、流れ作業でお菓子をつくっている。

④

福岡市にある工場でつくられるお菓子は、甘くておいしく、お土産として有名である。

②③

安全でおいしいお菓子をたくさんつくるために、工場で働く人はいろいろな工夫をしている。

⑦⑧

社会的事象

（具体的知識）

・えいせい面

・せいけつ

・安全

・原料

・外国

・きかい

・作業

・おかし

・工場

・博多港

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　　　　　調べる

□　知識の構造図　店ではたらく人

販売の仕事に携わる人々は，お客さんのさまざまな願いをふまえ，売り上げを高める工夫や努力をしながら仕事をしている。

⑭⑮

中心概念 　　まとめる

（概念的知識）

・（販売店の様子、人々の様子）

スーパーマーケットでは、たくさんの商品が販売されている。また、たくさんの人たちが仕事をしている。　　　　　　　　　　　　　　⑤⑥

スーパーマーケットに並ぶ多くの品物は、国内だけではなく海外も含めた、他地域との関わりによって成り立っている。　　　　　　　　⑪

・産地

・国旗

スーパーマーケットで働く人々は、商品の注文や陳列をしたり、商品を加工・包装したりするなど、さまざまな取り組みをして、お客さんがたくさん来るよう工夫している。　　　　　　　　　　　　　　　　⑨⑩

・品しつ

・注文

スーパーマーケットの売り場には、買い物をする人が分かりやすいように看板などを使ったり、コンシェルジュがお客さんの質問に答えるようにしたりしているなど、さまざまな工夫がある。　　　　　　　　⑦⑧

・かんばん

利用する理由は店によって異なるが、家の人たちがよく利用するのはスーパーマーケットである。　　　　　　　　　　　　　　　　　　②③

・スーパーマーケット

地域には、さまざまな種類のお店がある。

①

・商店がい

地域にみられる生産の仕事や販売の仕事は，わたしたちの生活と身近なところでつながっている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　❶

・ていあん文

スーパーマーケットで働く人々は、お客さんの多様なニーズに応えるためのさまざまなサービスをしており，それらの工夫が店の売り上げを高めることにつながっている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑫

12

・サービス

・ちらし

・しゅん

スーパーマーケットでは、商品を売る以外に、だれもが利用しやすいよう店の設備を整えたり、買い物の手伝いをしたりするなど、地域の人々に役立つ地域貢献に取り組んでいる。　　　　　　　　　　　　　　⑬

・リサイクル

・コンシェルジュ

・地いきこうけん

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 いかす

□　知識の構造図　火事からくらしを守る

火事から地域の人々の安全を守るために，消防署などの関係機関は相互に連携して，緊急時に対処する体制をとったり地域の人々と協力したりしながら火事の防止に努めている。

⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

火事が起きたとき、さまざまな関係機関が、通信指令室を中心にネットワークを活用し、相互に連携して迅速に対処する体制をとっている。

④

まちにはさまざまな消防施設が設置されており、火事などの災害が起きたときのために、避難場所も定められている。

⑤

・消防しせつ

・防火水そう

・消火せん

・ひなん場所

火事が起きると、消防士が現場に到着して消火活動を行い、さまざまな人々が協力して消火や救助の活動をしている。

①

消防署の人たちは、地域の安全を守るために、火事が起きたときに迅速に対応している。また日頃から火事に対応するための訓練などをを行い緊急時に備えている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

消防団は、地域の人々が集まり、消防署と協力しながら火事に備えて訓練したり、防火を呼びかけたりしている。

⑥

・消防団

・市民防災訓練

社会的事象

（具体的知識）

・消防士

・協力

・消防自動車

・１１９番

・通信指令室

・救急車

・けいさつしょ

・消火活動

・防火服

・訓練・点検

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　調べる

□　知識の構造図　事故や事件からくらしを守る

事故や事件から地域の人々の安全を守るために，警察署などの関係機関は相互に連携して，緊急時に対処する体制をとったり地域の人々と協力したりしながら事故などの防止に努めている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑥

中心概念 まとめる

（概念的知識）

警察官は、地域の安全を守るために、地域社会の中でさまざまな活動をして事故などの緊急時に備えている。

②

・けいさつ

・交番

・法やきまり

身近な地域には、事故や事件の起こりそうな危ない場所がたくさんある。

①

こども１１０番の家の設置など、関係機関が地域の人々と協力して、地域の安全を守っている。

④

・こども１１０番

・まちの安全を守る

　しくみ

事故が起きたとき、さまざまな関係機関が、通信指令室を中心にネットワークを活用し、相互に連携して迅速に対処する体制をとっている。

③

・通報

・１１０番

・通信指令室

・消防しょ

地域の人々は、警察やＰＴＡ、市役所などと連携しながら安全なまちづくりに努めている。

⑤

地域の安全なくらしを守る取り組みをふり返り、地域社会の一員として自分たちにできることを標語にしてまちの人に伝えることは、地域や自分自身の安全を守ることにつながる。　　　　　　　　　　　　　　❶

社会的事象

（具体的知識）

・くらしを守る

・標語

・事故

・事件

・身近な地いきのあぶない場所

・安全なまちづくり

・防犯パトロール

・見守り活動

・安全マップ

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす

□　知識の構造図　市の様子と人々のくらしのうつりかわり

市や人々の生活の様子は，交通網の整備や公共施設の建設，土地利用や人口の変化，生活で使う道具の改良など，時間の経過に伴い移り変わってきている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑧⑨

中心概念 　　まとめる

（概念的知識）

昔から今に至るまで、くらしをよりよくしようとする人々の願いによって道具はさまざまに工夫され使われてきており、人々の生活も変わってきた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑦

・道具

・道具年表

明石市の人々は、市の発展のためにさまざまな取り組みをしており、わたしたちも市の未来について考えていくことが大切である。

⑩

明石市の学校や図書館などの公共施設は、昔から今に至るまで計画的に建設されており、税金を使って整備された施設によって人々の生活も変わってきた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑥

・公共しせつ

・税金

明石市の人口は、昔から今に至るまで市町村の合併などの土地の広がりに合わせて増えており、今では特に、お年寄りや外国の人の数が増加してきた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑤

明石市の土地利用の様子は、昔から今に至るまで大きく変化しており、人々の生活も変わってきた。

④

明石市の主要な道路や鉄道などの交通網は、昔から今に至るまで計画的に整備されてきており、人々の生活も変わってきた。

③

明石市の昔と今では、土地の使われ方や交通などの様子が変わってきた。

②

明石駅のまわりは、昔から今に至るまで、建物や施設などの様子が変わってきた。

①

・明石駅のまわり

・時期の区分

社会的事象

（具体的知識）

・市の様子のうつりかわり

・時期

・人口

・土地の広がり

・外国の人

・土地の使われ方

・団地や工場

・うめ立て

・市の交通

・鉄道

・主な道路

・市のはってん

・みらいの明石市

・ポスター

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　　　調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす